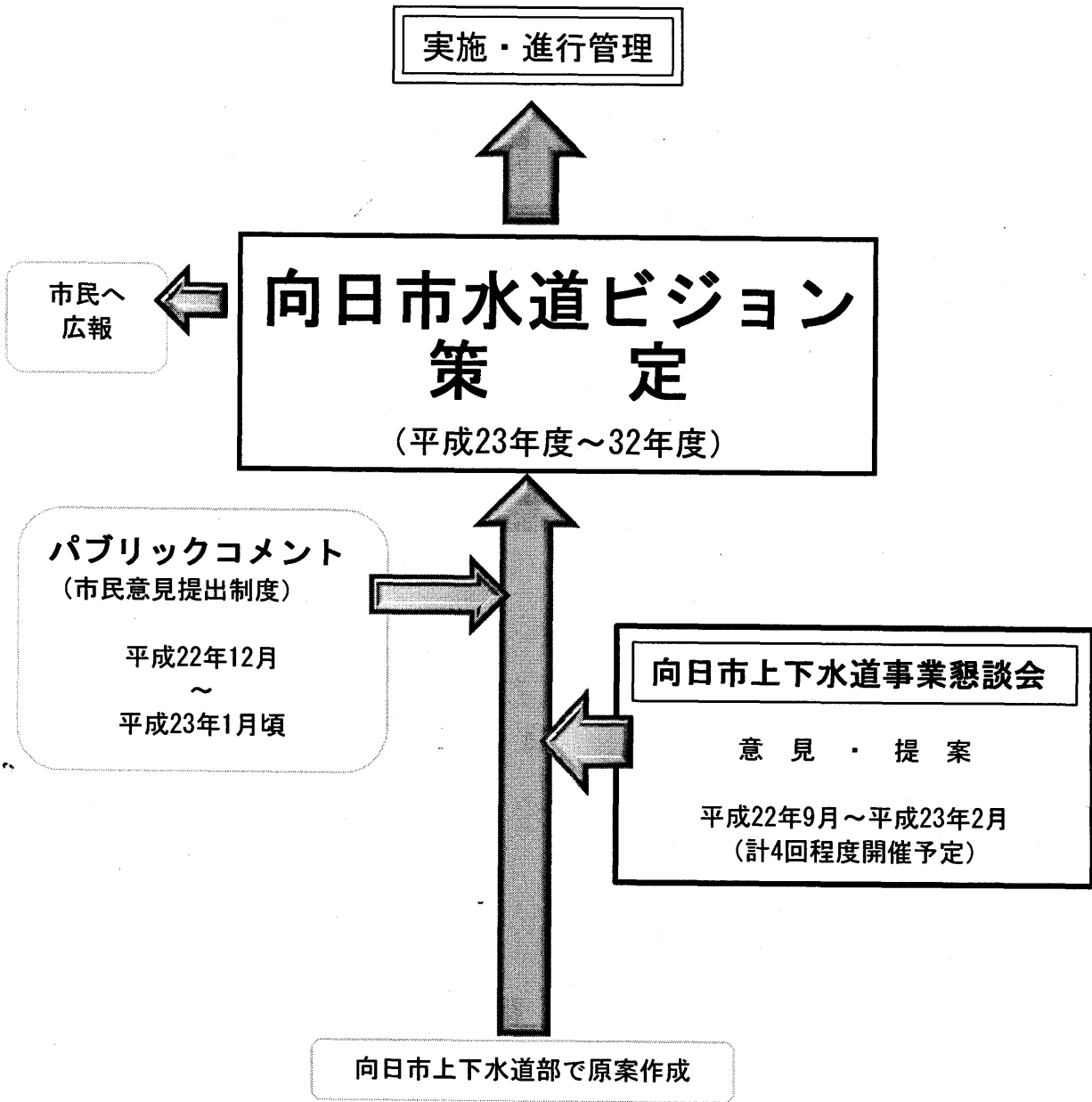


向日市水道ビジョン策定の流れ



用語の解説

ア行

一元化

平成19年に、2つあった浄水場のうち上植野浄水場の浄水機能を廃止し、物集女西浄水場に集約した。

営業収益

給水による収入(水道料金)など、水道事業の営業による収益。配当・利息収入などの営業外の収益は含まない。

カ行

企業債

水道事業などの地方公営企業が行う建設、改良等に要する資金に充てるために起こす長期借入金。

京都府営水道

京都府が経営している水道水の卸売り事業(用水供給事業)で、本市をはじめ府下の7市3町に対して、水道水の供給を行っている。なお、浄水場は3か所あり、今回それらは相互に供給できるよう結ばれた。

業務指標(PI)

PIとは、Performance Indicatorの略。水道事業の内容を全国共通の指標で表現するもの。(社)日本水道協会が平成17年1月に制定した規格「水道事業ガイドライン」に基づき、水道事業全体を網羅した6つの分野(安心、安定、持続、環境、管理、国際)についての137項目が設定されている。

緊急遮断弁

地震等により、水道管が破損し、配水池から水が流出しないよう、配水池内に貯留した水を確保するため、設置した弁。

経常収益

事業本来の営業活動により、毎年継続的に発生する収益。営業収益と営業外収益の合計。

硬質塩化ビニル管

耐食性、耐電食性に優れ、重量も軽く接合も容易で、熱伝導率も小さい。衝撃や熱に弱い。現在、向日市では、より衝撃に強く外力による割れが生じにくい素材の耐衝撃性塩化ビニル管(HIVP)を使用している。

サ行

残留塩素

水に注入した塩素が、消毒効果をもつ有効塩素として消失せずに残留している状態のもので、次亜塩素酸などの遊離有効塩素と、クロラミンなどの結合塩素に区分される。水道法では、飲料水として遊離塩素0.1mg/ℓ以上(結合塩素の場合は0.4mg/ℓ以上)の濃度を保持することとされている。

収益的収支

企業の経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出のこと。赤字、黒字などの経営状態を表す。

水道ビジョン 今後の水道事業のあり方を示すため、平成16年度に厚生労働省より策定されたもの。基本理念は、「世界のトップランナーを目指してチャレンジし続ける水道」とし、わが国の水道の現状と将来見通しを分析評価し、水道のあるべき将来像についてすべての水道関係者が共通目標を持って、その実現のための具体的な施策や工程が明示されている。

「地域水道ビジョン」は水道事業者が自らの事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示すもので、厚生労働省は、平成17年10月に各水道事業者に対して「地域水道ビジョン」の作成と施策の着実な実施を求めている。

送水管 浄水場から配水池へ水を送る管。

タ行

耐震管 耐震型継手を有する、耐震性能に優れた水道管。

ダクタイル鋳鉄管 球状黒鉛鋳鉄(ダクタイル鋳鉄)を使って製造された管。鋳鉄の組織は主に地鉄と黒鉛であり、黒鉛の形状が球状のため、地鉄の連続性が失われず、延性に富み、一般鋳鉄の約2倍の強度が期待できる。

地域水道ビジョン →水道ビジョンへ

導水管 取水井から取水した原水を、浄水場へ送る管。

ナ行

鉛製給水管 配水管から各家庭へ分岐した給水管のうち、材質が鉛のもの。通常の使用では、厚生労働省の水質基準に適合しており、健康に問題ないが、水道水が管の中に長時間滞留すると水質基準を超えることがあることから、取替えを進めている。

ハ行

配水管 浄水場から、各戸につながる給水管まで水を送る管。

PI →業務指標(PI)へ

分水協定 向日市では、災害などの緊急時に、給水を受けることができるよう京都市と協定している。

ラ行

ライフライン 都市機能を維持し、人々が日常生活を送る上で必須の諸設備のことであり、水道、下水道、電気、ガス、電話等をいう。

累積欠損金 営業活動で生じた欠損(赤字)額の累計。